

## 緩和ケア部

### 1. スタッフ

部長（教授）	丹波嘉一郎	1984年自治医大卒
医員（准教授）	岡島 美朗（兼）	1988年山梨医大卒
	（講師）井上荘一郎（兼）	1992年慈恵医大卒
	（臨床助教）渡辺 秀紀（兼）	2005年新潟大卒
看護師（兼）		1名
臨床心理士		1名
薬剤師（兼）		2名
医療ソーシャルワーカー（兼）		1名
管理栄養士（兼）		1名
作業療法士（兼）		1名
歯科衛生士（兼）		1名

榎木恵実子医師は退職し、副手としてカンファレンスに参加

### 2. 緩和ケア部の特徴

当部は、地域がん拠点病院の認可をにらみ、平成18年10月に発足した。当初から行っていた、緩和ケアチームによる一般病棟でのコンサルトと緩和ケア外来に加え、平成19年5月に緩和ケア病棟が開棟し、症状コントロール、レスパイト、エンドオブライフケアを行っている。また、在宅との連携も積極的に行っている。

緩和ケアは、

- 1) 疼痛、呼吸困難、悪心嘔吐その他の症状のコントロール
- 2) 心理社会的、スピリチュアルな面での対応
- 3) 最適な療養場所の検討とそのサポート

が大切であり、その目的は、進行して治癒の望めない疾患を持った患者様とご家族のQOLの維持である。

なお、緩和ケアの領域にも、平成21年4月1日から、日本緩和医療学会の緩和医療専門医制度が始まった。当院も丹波が暫定指導医として認められたので認定施設なり、2年間の研修で専門医の取得が可能となっている。

#### ・認定施設

日本緩和医療学会認定研修施設

#### ・認定医

日本内科学会総合内科専門医	1名
日本緩和医療学会暫定指導医	1名
日本透析医学会専門医	1名
日本心身医学会専門医	1名
日本総合病院精神医学会専門医	1名
日本精神神経学会指導医	1名

### 3. 実績・クリニカルインディケーター

上記のスタッフ構成により、専任医2、他は兼任の多職種参加のチームでコンサルトを行っている。診療報酬を得るためのスタッフ構成（専従医師1、専任医師1、専従看護師1、専従薬剤師1）とは大きく異なっている。電子カルテと電子メールの活用しながら、緩和ケア病棟の入院患者のカンファレンスを毎週火曜日午後、入院コンサルトと外来患者のカンファレンスを毎週木曜日午後に行っている。

#### 1) 緩和ケア病棟

平成21年度は、11ヶ月で146名（13.2名/月）と前年度の181名（15.1名/月）から減少した。これは、常勤医の退職、看護師数の変動などにより、十分な医療スタッフ数が常時確保できなかったことが主因である。その一方、死亡退院は、120名/11ヶ月（10.9名/月）で、前年度の143名（11.9/月）から著減はせず、平均在院日数は、23.6±23.4日と前年度の25.3±24.8日に比し、短縮している。これは、死亡退院数はそれほど変わらず、死亡までの日数の短いケアをより必要とする患者が多いことを示している。

在宅療養への移行は、のべ23名で、在宅で最期まで過ごされたのは4名に過ぎず、昨年度の7名から減少傾向である。

症状コントロールはかなりなされているが、終末期の苦痛のコントロールのために、鎮静を受けた割合は、一昨年度は38.1%、昨年度は32.6%だったが、今年度は15.0%と大幅に減少している。

なお、死亡退院に際しては、約4割を緩和ケア病棟へ移る前に担当していた当該科の当直医に看取っていただいている。

#### 2) 入院コンサルト

平成19年度、20年度はそれぞれ、132名、145名の入院コンサルトがあった。今年度は11ヶ月で既に146名のコンサルトがあった。緩和ケア病棟を中心とした療養場所の検討、症状コントロール、心理面の対応を行っているが、心理面の対応のコンサルトが激増している。

#### 3) 緩和ケア外来

医師だけでなく、外来においても、臨床心理士、薬剤師、看護師、MSWとともに多職種で他科外来からの紹介患者を当該科と併診している。緩和ケア病棟を中心とした療養場所の検討、症状コントロール、心理

面の対応を行っている。平成19年度、20年度はそれぞれ、97名、129名の、今年度は既に11ヶ月で118名の外来コンサルトがあった。他院からの紹介は平成19年度、20年度はそれぞれ、5名、23名だったが、今年度は既に27名の依頼がある。

入院コンサルトや緩和ケア外来を通じて、計約25名が在宅医による往診へと療養を切り替えており、エンドオブライフの在宅療養を積極的に進めている。

**教育／研修について**

平成21年度は、学外講師を招聘しての講演会を2回、がんプロフェッショナル養成に伴う緩和ケア講義を4回、緩和ケアの知識の普及に努めた。

医学生教育として、下記の講義、BSLを行っている（セミナーを除く）。

- M3 臨床社会学（本年度から） 2コマ
- M4 総合診療部クルブス 各BSL毎
- M5 臨床講義 3コマ
- M5-6 選択BSL 各クール1名

来年度からは、緩和医療講座の発足とともに、M3、M5に計10コマの系統的な緩和ケア講義を予定している。

研修については、平成21年度は、2～3ヶ月の研修が計4名だった。大学院（週1回の見学・研修）2名で、内1名は、主科目で緩和ケアを選択し、学会発表を行った。

それ以外の、啓発として、さいたま医療センター緩和ケアチームとのTV電話会議などを行っている。

**4. 事業計画・来年の目標等**

**(1) 住民への啓発**

がんの末期ギリギリまで治療医のみに依存し、最期だけを頼るといふ「お看取り屋」的な考えや、オピオイドを中心とした苦痛を軽減する薬を忌避する姿勢ができる限り減るように、正しい緩和ケアの考え方を普及させていく。

**(2) 緩和ケア部の充実**

人的に余裕がないと、病棟の拡充は難しい。当院の緩和ケア病棟は、欧米の3次緩和ケア病棟的な性格が強く、たんに最期の時期を過ごすためということの背景に多様な要素を含んでいる場合が少なくない。人の育成を図りつつ、診療報酬の取れる緩和ケアチームを確立する準備を進めたい。

**(3) 地域連携の強化**

優れた在宅医との連携を強化するとともに、外来で対応が可能な方は、近医とも連絡をしながら安心して自宅で療養できる体制を作っていく。

**(4) ボランティアの養成**

緩和ケア病棟での、お茶のサービス、お花、マッサージその他のボランティアの育成に努めていく。

**緩和ケア部 2009年度12ヶ月間の実績**

**A. 緩和ケア病棟**

**(1) 入院**

入院数	134名	181名	146名	
月あたりの入院数	12.2名/月	15.1名/月	13.5名/月	
男性	90 (67.2%)	102 (56.4%)	81 (55.5%)	
女性	44 (32.8%)	79 (43.6%)	65 (44.5%)	
年齢	62.9±10.5歳	63.3±11.4歳	63.4±4.1歳	
入院元	他科から転棟	78 (58.2%)	94 (51.9%)	75 (51.4%)
	外来から	42 (31.3%)	70 (38.7%)	62 (42.5%)
	他院から	14 (10.5%)	17 (9.4%)	12 (8.2%)
緊急入院	17 (12.7%)	45 (24.9%)	36 (24.7%)	
再入院	9 (6.7%)	21 (11.6%)	21 (14.4%)	

**3年間の診療科別入院患者数（重複あり）**

診療科	患者数	診療科	患者数
臨床腫瘍科	194	口腔外科	4
外科	93	血液内科	4
呼吸器内科	48	脳神経外科	2
婦人科	41	精神科	2
泌尿器科	25	腎臓内科	2
耳鼻咽喉科	25	アレルイウ科	1
消化器内科	22	形成外科	1
呼吸器外科	11	神経内科	1
皮膚科	9	感染症	1
総合診療部	8	内分泌	1
放射線科	5	なし	11

**(2) 退院（転科）数 平均在院日数 23.6±23.4日**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	小計
人	13	19	14	15	10	12	15	12	11	13	10	144
死亡	9	15	11	15	8	9	12	12	9	12	8	120
在宅	4	3	3	0	2	3	3	0	2	1	2	23
転院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

**看取りのDr**

看取り医	患者数	%
緩和ケア	74	61.7
外科	23	19.2
内科	10	8.3
婦人科	6	5.0
耳鼻咽喉科	3	2.5
泌尿器科	1	0.8
呼吸器外科	1	0.8
皮膚科	1	0.8
口腔外科	1	0.8
総計	142	100.0

(オ) 鎮静の割合 15.0% (2009年度)

鎮静開始から死亡まで 平均3日2時間33分±3日9時間33分 (3年間)

## B. 緩和ケアコンサルト

総件数291件 平均年齢63.1±12.7歳

男155名 女143名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	小計
外来	13	10	9	11	15	11	12	12	11	7	7	118
入院	10	13	17	14	8	11	14	22	19	11	7	146
院外	2	3	4	2	2	2	4	2	4	2	0	27
小計	25	26	30	27	25	24	30	36	34	20	14	291

## 依頼元 診療科別内訳（重複あり）

科名	症例数	科名	症例数
臨床腫瘍科	85	口腔外科	6
外科	74	呼吸器外科	6
呼吸器内科	33	皮膚科	5
婦人科	22	脳神経外科	4
消化器内科	19	精神科	2
血液科	16	救急部	2
耳鼻咽喉科	14	放射線	2
泌尿器科	9	腎臓内科	2
総合診療部	6	なし	15

## 予後

予後	症例数
死亡	161
外来通院中	49
中断	45
転医	16
他科入院中	12
緩和ケア病棟入院中	6
緩和ケア病棟から退院	2
総計	291